

令和5年度第2回独立行政法人造幣局契約監視委員会議事概要

開催日時及び場所 令和5年12月19日（火）10時30分～11時20分 造幣局会議室

委員 瀧 洋二郎（浅岡・瀧法律会計事務所 弁護士）
石田 眞得（関西学院大学法学部 教授）
松尾 健一（大阪大学大学院高等司法研究科 教授）
桑田 周一（独立行政法人造幣局 監事）
木股 英子（独立行政法人造幣局 監事）

審議対象 個々の契約案件の事後点検【令和5年度上期（4月～9月）】

- | | |
|--------------------------|------|
| （1）新規の随意契約となった案件 | 2件 |
| （2）2か年度連続一者応札・応募契約となった案件 | 6件 |
| ・うち一般競争入札で一者応札のもの | （0件） |
| ・うち公募で一者応募のもの | （6件） |

調達等合理化の推進に向け議論すべき事項

- （1）随意契約における予定価格の適正性及び価格合理性の担保に係る点検
 - ・随意契約及び一者応札・応募契約におけるいわゆる落札率（契約金額／予定価格）による点検
- （2）合理化計画の実施状況の点検
 - ・契約全体の一覧表による点検

委員からの意見・質問、それに対する回答等

下記のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容

特になし

主な意見・質問	回答
<p>『個々の契約案件の事後点検』について (競争性のない随意契約について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会に関する業務委託契約について <p>①契約単価については、何か基準があるのか。</p> <p>②人選手続きに関する内規のようなものはあるのか。</p> <p>③第三者委員会については非常に珍しい事案でもあるので、内規にする必要はないかもしれないが、記録として残しておくことは大事かもしれない。</p> <p>(一者応札となった案件について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造貨幣等輸送作業については、トラックの仕様などにより参加できる者が限られることもやむを得ないのかもしれないが、運送業者の業界団体などにあたって網羅的に情報を収集するようなことはしているのか。 <p>『合理化計画の実施状況の点検』について (低入札について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札となった工事について、例えば消火装置などうまくいかなければ危険な場合もあると思うが、仕上がったものを確認するとか、そのようなこともしているのか。 <p>(落札率について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い期間で複数回の調達をした場合に金額が予想しやすくなり、第三者から見たときに誤解を招く可能性があるため、そういうことがないようにしていただきたい。 	<p>①日本弁護士連合会弁護士報酬基準（平成16年廃止）の一般法律相談料を参考にし て判断した。</p> <p>②決まりというものではなく、手を尽くして調べて人選したものである。</p> <p>・今のところ個別の事業者に当たっているのが現状である。団体に向けた働きかけについては少し足りなかったかもしれないので、そういった可能性について引き続き探 っていきたい。</p> <p>・要求原課等において問題がないことを確認したうえで、検査調書が提出される。</p> <p>・承知した。</p>